

平成30年第1回伯耆町議会定例会

一般質問通告書

平成30年3月15日該当日

質問者	質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
渡部 勇 議 員 (8番)	1. 伯耆町に おけるこれ からの農業 (稲作)と 林業は	<p>伯耆町の基幹産業は農業である、大規模農業・兼業農業・小規模・家族農業で営まれている。大山山麓に広がる大原千町の作付けは主に稲作ですが転作田では野菜も作られている。</p> <p>(1) 高齢化・担い手のなか大原千町では稲作を頑張っておられる。だが、稲作には主食米と飼料米とある。10a当たり作付けから収穫までの違いと収入の差はあるか。</p> <p>(2) 大原千町の水源は半川上流から引き、コンクリート水路及び自然流下のパイプライン約16kmで圃場を潤している。圃場整備から半世紀近くたっており、それぞれ老朽化し改修が必要であるが地元負担の軽減策はないか。</p> <p>(3) 町内、小規模農家も少なくない。これからの小規模農地を維持・活用する取り組みは。</p> <p>(4) 林業への有害鳥獣被害は。また、駆除対策事業はあるか。</p> <p>(5) 町内の若手林業従事者に町有林(人工林)を使い、技能伝承事業はできないか。</p>	町 長
	2. 教育でま ちづくりを	<p>伯耆町教育振興基本計画が見直され、2月には地域とともにある学校づくりフォーラムが開催された。</p> <p>(1) これから始まる英語教育の取り組みは。</p> <p>(2) 学校づくりフォーラムのなかで「HK30プラン」セカンドステージの概要説明を聞いたが、取り組みと課題・成果は。</p> <p>(3) 昨年行われた、学力・体力テスト(岸小)の結果を見ると、課題があり、対策が必要ではないか。</p>	教 育 長
	3. 伯耆町へ の移住者対 策について	<p>鳥取県内の市町村別移住者数を見ると伯耆町では平成27年度は年間80人、28年度は年間59人、29年度上半期は22人となっている。今後の対策は。</p>	町 長

質問者	質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
一橋信介 議員 (7番)	1. 農業政策 について	<p>私も農業を行っているが、農業者の高齢化や、後継者不足により、合理化、大規模化等が推進され、生産性、利便性の悪い農地について、耕作をしなくなる方向に進んでいるように感じている。</p> <p>こういった状況の中でも、小規模ながら営農を続けておられる兼業農家の方々もおられ、この方々に農地保全に尽力いただくためには、手を差し伸べ、営農が成立する程度の生産性の向上を目指す必要があるようにも考えられる。私自身も今後の方向性については判断がつきにくいところだが、将来的な農業の方向性について伺う。</p>	町 長
	2. イノシシ 等被害防止 対策について	<p>イノシシ被害防止対策は現在農業を行う上で必要不可欠な事業だと思っている。今後も防止柵の設置がおこなわれると思うが、近年、利便性の悪い農地の耕作をしなくなるケースも増えていると感じている。</p> <p>イノシシ被害防止対策による防止柵の設置については、制度開始以降10年以上が経過し、町内において初期に設置したイノシシ侵入防止柵も耐用年数を越えたものがあると考えられる。</p> <p>耕作をしなくなった農地については、イノシシ侵入防止柵も不要となることが考えられるが、こういった場合、環境保全の観点から撤去すべきものとする。</p> <p>イノシシ侵入防止柵が不要となった場合の対応等について伺う。</p>	町 長
杉本大介 議員 (3番)	1. 協働のま ちづくりの 充実について	<p>(1) 第2次伯耆町総合計画の基本方針に「住民と行政による協働のまち」とある。住民が主体的に参画することの重要性と、そのための取り組みと成果、今後の課題について問う。</p> <p>(2) 多様化する住民ニーズに対応し、様々な世代の住民が町政により関心を持てるよう、また、これからの担うリーダーの発掘・育成のためにも、地域で活動している団体や事業者、民間の方が町の課題を話し合い、提案できるような場を作ることはできないか。</p>	町 長

質問者	質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
細田 栄 議 員 (10番)	1. 障がい者の総合支援について	<p>現在、町内には継続就労支援 A 型の「ゆめ工房」と B 型の「伯耆みらい」があり、町内外の障がい者の方の就労支援を行っている。</p> <p>A 型は、雇用契約に基づき最低賃金を保障するもの。B 型は、非雇用型で賃金について制約も無く、比較的自由に働ける。</p> <p>そのため、B 型は重度の利用者が多くなっている。岸本保健福祉センター建設時に、精神障がい者と知的障がい者の方を対象とした、作業所「みらい」を町が主導のもと館内に設立した。</p> <p>その後身体障がい者の方も対象を拡大し、現在の「伯耆みらい」に発展した。</p> <p>(1) 障がい者総合支援センター(仮称)の新設を検討しないか。</p> <p>(2) 伯耆町誕生前に兵庫県篠山市の障がい者支援センターを視察しているが、篠山市では合併初年度の事業として新築されていた。合併まちづくり計画でも課題に上がったようだが、広域的対応が望ましいということで、計画から落とされた経過もある。</p> <p>A 型の「ゆめ工房」と B 型の「伯耆みらい」は、それぞれ別法人であるが、連携の必要はないか。又、運営費について町の支援はどうなっているか。</p> <p>(3) B 型の「伯耆みらい」は、岸本保健福祉センター内、溝口駅前のカフェ「ポップみらい」、岸本保健福祉センター敷地内のパン工房「キララみらい」、こしき保育所跡地の弁当など「伯耆みらい」の 4 か所に分散しているが、それぞれの施設を有効に活用しながらも、新規の作業メニューに対応した新たな作業場所が必要ではないか。特に、こしき保育所跡地については、老朽化により雨漏りもしているようだ。</p>	町 長

質問者	質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
細田 栄 議 員 (10番)	2. 町職員の 定年につい て	<p>労働基準法では労働者の定年を65歳とするか、60歳定年後希望者全員を65歳まで継続雇用するよう定めている。</p> <p>(1) 伯耆町では60歳定年で、その後は希望者を再任用する方式がとられているが、再任用を希望する方が少ないようだが、何が原因と思われるか。</p> <p>(2) 国家公務員についても、定年延長が具体化しそうであるが、いつ頃どのような内容か。</p> <p>(3) 国家公務員の定年延長が決定されれば、本町もそれに準じた内容に改定される考えか。</p>	町 長
	3. 町づくり について	<p>伯耆町が誕生して14年目を迎えたが、町内の地域特性がだんだんと見えてきた。岸本地域では、みどり団地・田園町・スカイタウン・こしが丘・伯耆ニュータウン・サン団地・木戸口など転入者等による新興住宅地がある、このほか大殿地域、坂長なども新規移住者が多い特性がある。一方八郷地区・日野川沿いの幡郷地区や溝口地域では過疎化が一層進んでいる。</p> <p>(1) 総じて新興住宅地の方は、町行政に対し満足度が高いようであり、以前からの農業集落では、後継者問題、集落の維持、農業問題など心配事が多いようだ。総合計画などでアンケートを取られているが、生活の満足度について、調査する考えはないか。</p> <p>(2) 岸本地域と溝口地域の文化の違いを上げれば、岸本地域は集落文化であり、旧村単位の地域性はほとんどない。一方溝口地域は集落があり、旧村単位の文化が根強く残っていると思われる。二部たたら祭や日光ふるさと祭・日光山菜会に代表される貴重な財産である。</p> <p>そこで溝口地域においては、旧村の二部・日光公民館に正規職員と新しく集落支援員を配置しているが、地域住民の方の評価はどうか。</p> <p>(3) 二部地区の活性化方策について伺う。</p>	町 長

質問者	質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
森下克彦 議員 (2番)	1. 基金を活用して、町民の負担軽減策を図ることについて	<p>本町における基金について、30年度当初予算案では、3億6,342万円の取崩し、1,663万円の積立てをする計画となっており、30年度末には、20種・35億9,496万円の残高が見込まれている。</p> <p>ところで、町民をめぐる経済的状況をみれば、実収入の伸びを上回って非消費支出が増加し、可処分所得は減少している状況にある。</p> <p>町民の暮らしを守る観点から、社会保険料、公共料金の負担軽減を図ることとし、その財源を基金に求める考えはないか。</p>	町 長
	2. 就学援助金の支給時期の繰上げ措置について	<p>小中学生を対象とし、経済的援助を行う施策として、就学援助金の支給制度が行われているが、その支給時期は、進学、進級後となっている。</p> <p>入学等の準備資金を必要とする時期に支給することが、町民の暮らしを守ることになると考えるが、どうか。</p>	教 育 長
	3. 地産地食につながる事業展開について	<p>イノシシによる被害が増加し、その対策措置も種々行なっているところ。</p> <p>そこで、地元産業活性化の観点から、このイノシシを活用してのジビエ料理により、地産地食につなげる方策の検討を、行政がリーダーシップを取って行う考えはないか。</p>	町 長
乾 裕 議員 (4番)	1. ヘルプカードについて	<p>障がい者や妊婦など困った場面で周囲の手助けを必要とする人が携帯し、外出時や災害時などに緊急連絡先や必要な支援内容を伝えるのに役立つツールとして「ヘルプカード」を作成する自治体が全国に広がっている。政府もヘルプカードに付いたヘルプマークを昨年国内規格「JIS」に追加している。2011年3月の東日本大震災で、家に帰れない障がい者が続出した教訓を忘れてはならない。本町での取り組みについて伺う。</p>	町 長
	2. 国保特別会計の新規事業「保険者努力支援」について	<p>保険者共通の指標の中で、特定検診受診率・特定保健指導受診率があるが、今後、どのように向上させていくのか具体策を伺う。</p>	町 長

質問者	質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
乾 裕 議 員 (4 番)	3. 感震ブレーカーの設置費用の助成対象拡大について	地震の際に起こる通電火災を防ぐ「感震ブレーカー」の設置費用の助成対象者を拡大することは、先般の全協において説明のあった県西部町村国土強靱化地域計画における重要業績指標のその他の項目に合致するものと認識する。本町における現制度と重複する部分もあるかもしれないが、①65歳以上の高齢者のみの世帯。②心身障害者がいる世帯。③未就学児童がいる母子家庭。などに対象者を拡大してはどうか。併せて、感震ブレーカーについても簡易タイプなどの普及を図ってはどうか。町長の所見を伺う。	町 長
長 谷 川 満 議 員 (1 番)	1. シビックプライドの醸成について	シビックプライドとは、町に対する誇りや愛着を指す言葉で、当事者意識を持って地域をよくしていこうとする概念で、全国的にも浸透し始めているが、伯耆町において現在の取り組みについて伺う。 (1) 現在、直接的に取り組んでいる事業はあるか。 (2) 今後、どう取り組んでいくのか。 (3) ボランティアポイント制度の導入でシビックプライドを育んではどうか。(もしくは健康ポイント制度内でのボランティア推進の拡充)	町 長
	2. 観光事業の季節雇用の現状について	伯耆町は大山を中心とした観光事業の需要もあり、季節変動による労働体系をとる事業者がある。安定的な地域の雇用においては重要課題と考えるが、今後の施策について伺う。 (1) 現在、季節雇用の実態を把握しているか。 (2) 季節雇用の通年雇用化の促進対策は考えているか。(通年雇用奨励金制度など) (3) 季節雇員と農業従事者の連携ネットワークの推進、およびそれらを活用した農業担い手の確保の取り組みを行ってはどうか。	町 長

質問者	質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
幅田千富美 議 員 (12番)	1. 町民のく らしの実態 について	<p>くらしも経済もよくなったと言っているが、地方においては、景気回復の実感は乏しく、それ以上に少子・高齢化、人口減少との課題が重くのしかかっていると町長が述べられているが、その実態をどのように把握されているか。</p> <p>(1) 収入200万円以下で働く人は何人か。 (2) 非課税世帯は、何世帯、何%か。 (3) 75歳以上のひとりぐらしの高齢者数は。</p>	町 長
	2. 生活保護 費の削減に ついて	<p>(1) 国は5年前に削減したが、平成30年10月から3年かけ削減を予定している。その見解について問うと同時に、就学援助を初め様々な事業との影響は何事業に及ぶか。 (2) 保護世帯に年2回見舞金の支給の考えは。 (3) 国に削減の中止を求めないか。</p>	町 長
	3. 子育て支 援5つの提 案	<p>(1) 出産祝金の増額について 合併後5万円を3万円に減額してきたが、元に戻さないか。</p> <p>(2) ひとり親家庭に対する児童扶養手当の支給回数年3回を年6回にしないか。 また、町独自に年2回の見舞金を支給してはどうか。(例：1回5千円)</p> <p>(3) 子どもの医療費の窓口負担を無料にしないか。国が就学前までの子どもの医療費のペナルティを全廃した。その費用を活用し、窓口負担をゼロにしないか。</p> <p>(4) 高校生通学費補助制度の創設について 町内に高校がなく通学に費用がかさむ。大山町に見習って支援したらどうか。</p> <p>(5) 給付型奨学金制度の創設について 国がやっと始めたが、平成29・30年度で2万2,800人分。学生2人に1人は奨学金を借りている現状であり不十分である。せめて4人に1人の支給制度を求めつつ町民の子弟を町独自の支援制度で支援できないか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 教 育 長</p> <p>町 長 教 育 長</p>

質問者	質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
永井欣也 議員 (5番)	1. 風力発電 事業につい て	<p>現在、(仮称)鳥取西部風力発電事業が計画され、環境影響評価法に基づく手続きが進められている。</p> <p>昨年9月に議会に事業概要の説明があり、12月議会では町長への一般質問も行われた。</p> <p>事業会社:合同会社NEW-09インベストメント、日本風力エネルギー(株)によると、現在は検討中の段階とのことだが、去る2月18日には本事業に係る環境影響評価方法書及び事業概要に関する住民説明会も開催されている。</p> <p>再生可能エネルギーの重要性は承知しているが、あまりにも巨大な風力発電事業であり、対象事業実施区域面積約3,657haのうち、約65.3%の約2,388haを占める伯耆町への影響は住環境を始めとして、多岐にわたると憂慮するところであり、以下、質問する。</p> <p>(1) 昨年9月7日から10月10日まで、計画段階配慮書が縦覧された。その際、鳥取県知事から地元自治体に照会があったようだが、本町の回答はどのようなものであったのか伺う。</p> <p>(2) 昨年11月8日付で鳥取県知事から事業会社に対して、配慮書についての環境保全の見地からの知事意見について(通知)が発出されているが、その内容について、読まれていれば、感想を聞きたい。</p> <p>(3) 2月8日から3月12日まで、環境影響評価方法書が縦覧されている。また、2月18日には住民説明会が町内では溝口公民館1カ所でのみ開催された。</p> <p>当初の計画では発電機(風車)36基程度としていたが、南部町の事業面積が大きく削減されたせいか、32基程度となっていた。結果的に旧溝口町の二部地区をぐるりと取り巻く蹄鉄型のような発電機の設置予定であった。このような配置の中での住環境をどう思われるのか伺う。</p>	町 長

質問者	質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
永井欣也 議 員 (5番)	1. 風力発電 事業につい て	<p>(4) 本事業計画の中に変電所を1カ所設置することとしており、その場所は現在、美保テクノス(株)が建設発生土を受け入れている場所に想定されている。</p> <p>昨年秋に真砂土採取事業拡張のため、建設発生土受入事業の協定書を変更したが、仮に変電所を建設するとなれば、この協定へはどのような影響が考えられるのか伺う。</p> <p>(5) 住民説明会の折には、住環境、稀少生物(オオサンショウウオなど)、地震、土質など多くの懸念の声が上がっていた。</p> <p>今後、環境影響評価も方法書から準備書、評価書と手続きを踏まなければならない。</p> <p>30年度一般会計予算提案理由の中で、主な施策2「環境に配慮したまちづくりの推進」を掲げ、環境の維持・保全是豊かな自然に囲まれた本町において重要なテーマのひとつとしている。</p> <p>本事業は大きな開発案件と考えます。現時点での町長の考えを聞きたい。</p>	町 長
	2. 学校教育 について	<p>昨年の3月議会で、新学習指導要領の改定案について、一般質問した。</p> <p>いよいよ32年度から全面実施となることで、特に外国語教育の大幅時間増について、ALT1名配置を業務委託する考えについて、期待される効果などについて伺う。</p>	教 育 長
勝部俊徳 議 員 (9番)	1. 「読み書き 支援員の育 成」等で障 がい者への お手伝いを	<p>障害者差別解消法が施行されてから約1年。</p> <p>(1) 「窓口で手話通訳をする、バリアフリー化、ワンストップサービス」などの「合理的配慮」など、これまでの法施行に伴う町の解消の向けての具体的な対応は。(庁舎改修等を含め、ソフト面やハード面において。)</p> <p>(2) 「読み書き支援員」を育成し、障がいがあり、この支援員を必要とする人への派遣事業を展開しないか。</p> <p>(3) 障がい者差別解消に関する町での協議母体は、存在するのか。</p>	町 長

質問者	質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
勝部俊徳 議員 (9番)	1. 「読み書き 支援員の育 成」等で障 がい者への お手伝いを	(4) 「障がい者差別解消推進に関する条例」の 策定検討について。 (障がいを理由とする差別解消並びに地域社会 においてみんなと共生することを推進するこ と等を目的とし、他の既設の条例との融合進 化、発展統合も含めて。) (5) この法律を町の事業として推進する場合に おいての課題等について。	町 長
	2. 「星空保全 地域」の指定 へ名乗りを上 げ、観光や教 育の振興を	(1) 本町として、大山山麓のリゾートエリアの うち特定エリアで、星空保全地域の指定要請を 行い、観光振興並びに産業振興、教育振興を図 る考えはないか。 (2) 「市町村の光害防止に関する施策」とは、 どのようなものが想定されるのか。 (注) 質問の対象条例は、「鳥取県星空保全条例」 (平成30年4月1日施行)	町 長
	3. 「特別な教 科 道徳」の 目指す教育は	(1) 「特別な教科」とは、何を意味するのか。 (2) 道徳は、戦後、「価値観を押し付ける」と いったような反対論が根強く、正式な教科とな らなかった経緯がある。 「道徳」が、正式教科になったことへの教育委 員会の受け止め方は。 (3) 小学校30年度、中学校31年度から始ま るこの道徳教育の目指すものは何か。また、そ れぞれの年間授業時間数は。 (4) 小学校での基本的な道徳的価値観教育は、 どのような内容のものになるのか。 (5) 各学校での校長の道徳教育推進方針、道徳 教育推進教師の指導計画は、各校独自のもの となるのか。 (6) 通知表への評価記載の方法は。 (7) 「道徳教育の課題」への認識は。	教 育 長

質問者	質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
大森英一 議員 (11番)	1. 教育振興 基本計画に ついて	<p>先般行われた「地域とともにある学校づくりフォーラム」を拝聴したが、もう少し中身について伺う。</p> <p>(1)本町の教育環境は自他ともに良いとされているが、HK30プラン等がめざす内容は、現状の教育課題を解決しようとするものか。それとも、ある理想モデルに近づけようとするものか。そして、その実現性はどうか。</p> <p>(2)フォーラムで、3者(学校・家庭・地域)の連携が必要との説明があったが、例えば、いじめ問題のケースの場合、どのようになるか。とりわけ、地域でどんな関わりができるのか、具体的な方法を示されたい。(いじめ以外も)</p> <p>(3)まちづくりにも言及していると思うが、町長部局との役割分担を考えているか。</p>	教 育 長
	2. 産業課の 移転につい て	<p>本庁舎改修図面で産業課の配置場所が示された。移転理由は、監査委員の指摘と事務の効率化ということで承知しているが、基幹産業に関わることでもあり、十分な説明とは言えない。</p> <p>(1)事務効率は良いが、現場実務の効率との比較はされているか。</p> <p>(2)第2次伯耆町総合計画の農林業でいえば、どの項目が移転の理由となるのか。</p> <p>(3)本来、将来計画でもある土地利用計画(ゾーニング)を基にし、移転の必然性の議論がされるべきではないか。</p> <p>(4)分庁舎の利用計画が必要ではないか。</p>	町 長